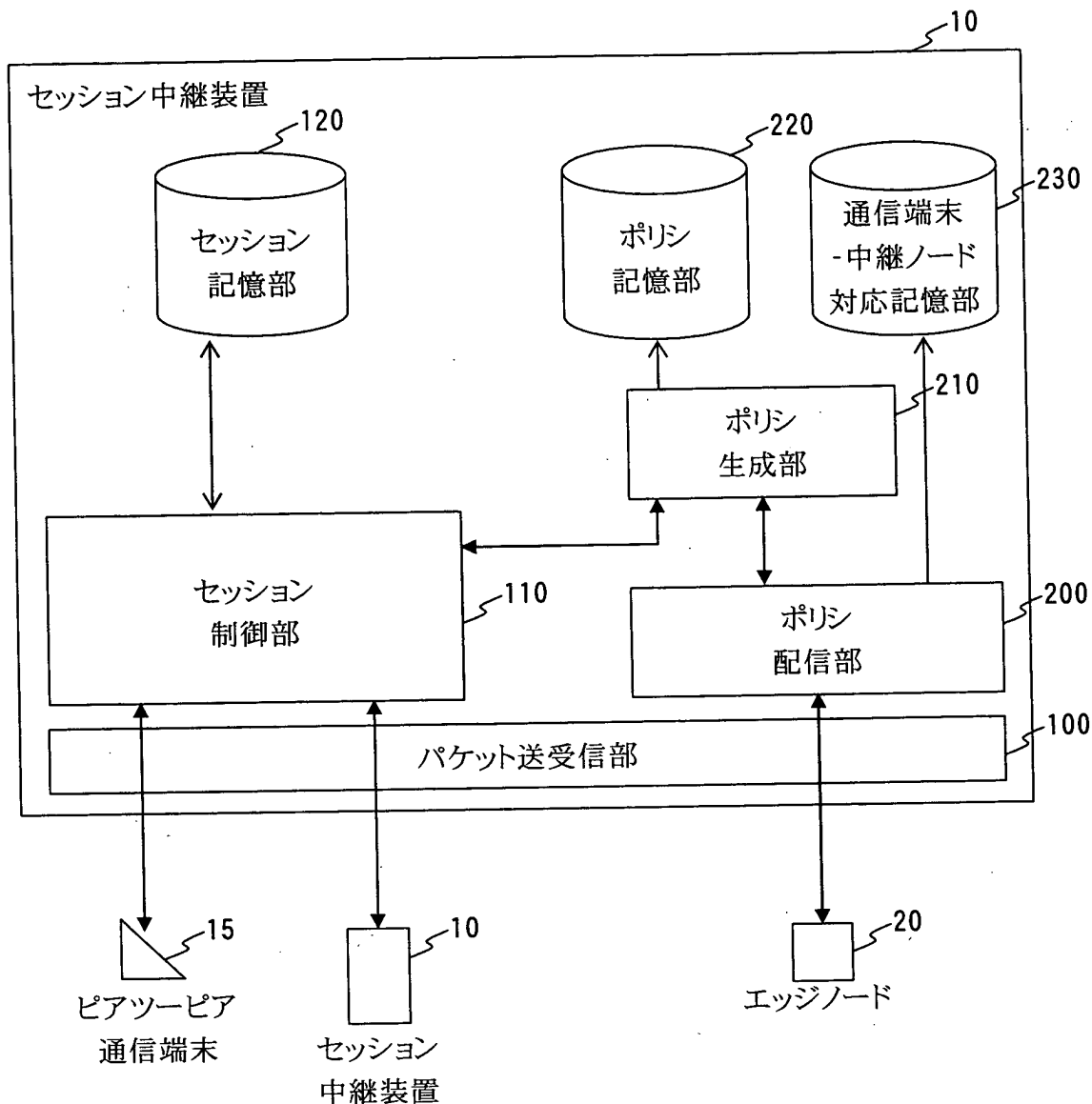


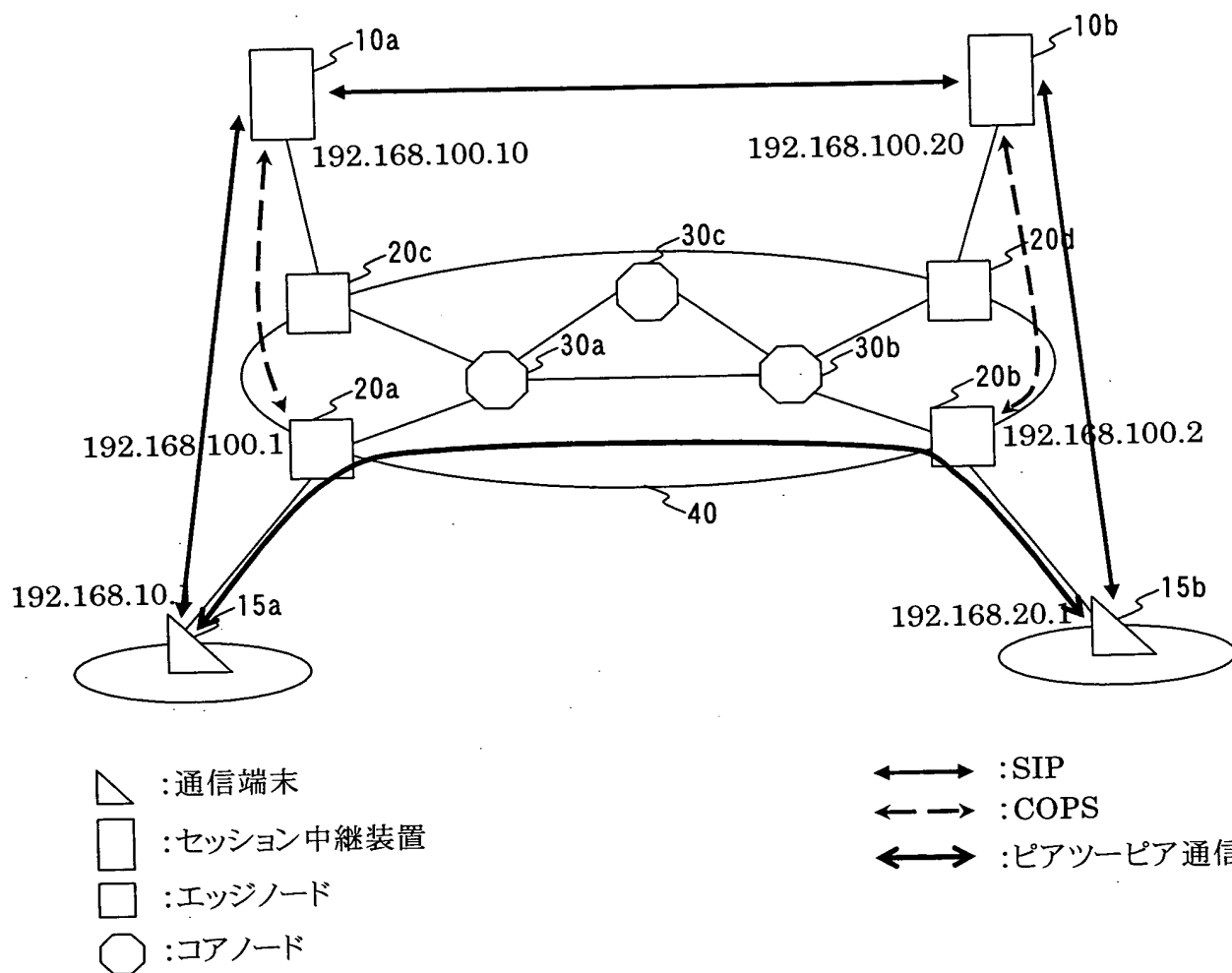
【図1】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図2】

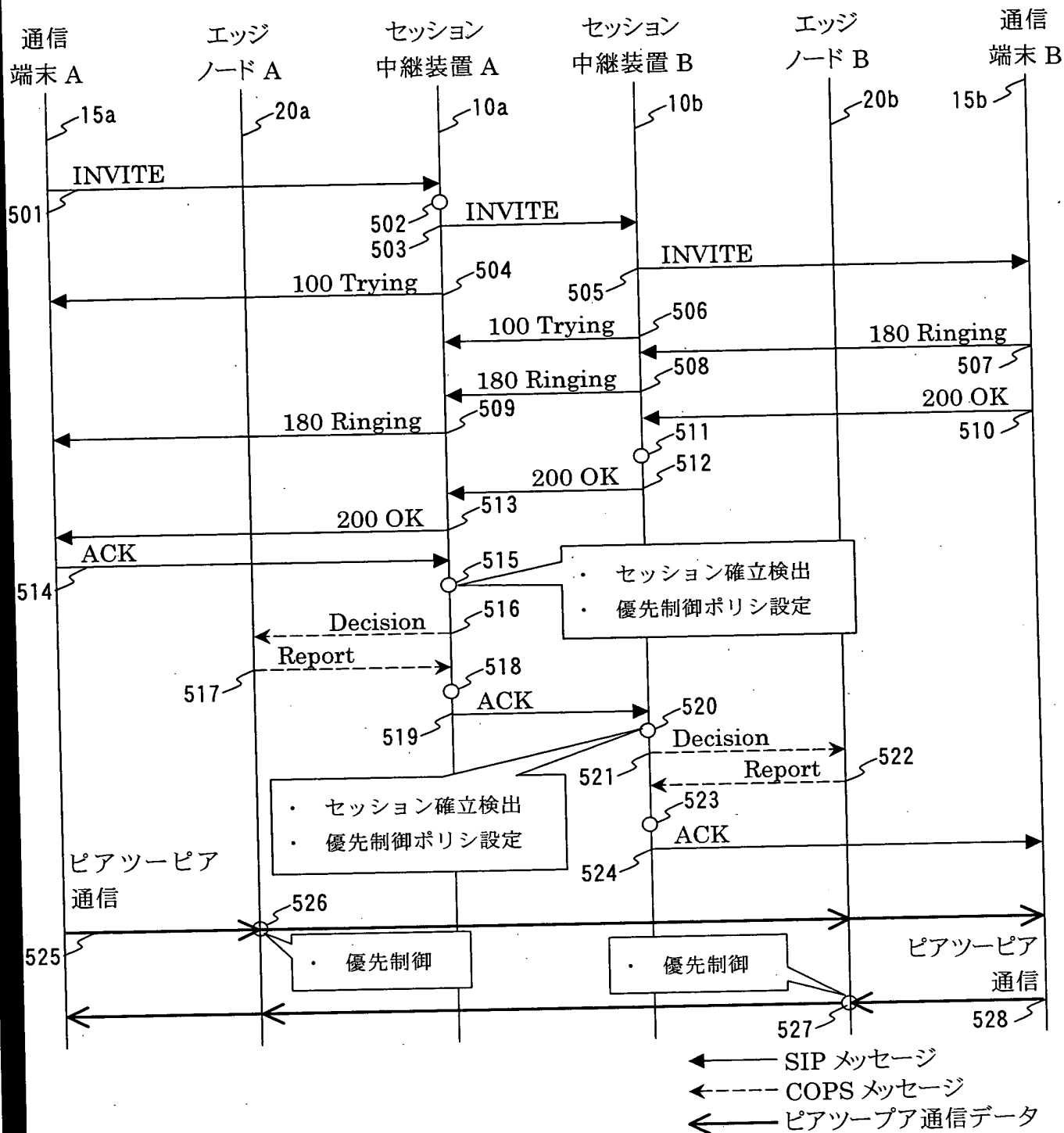


2

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

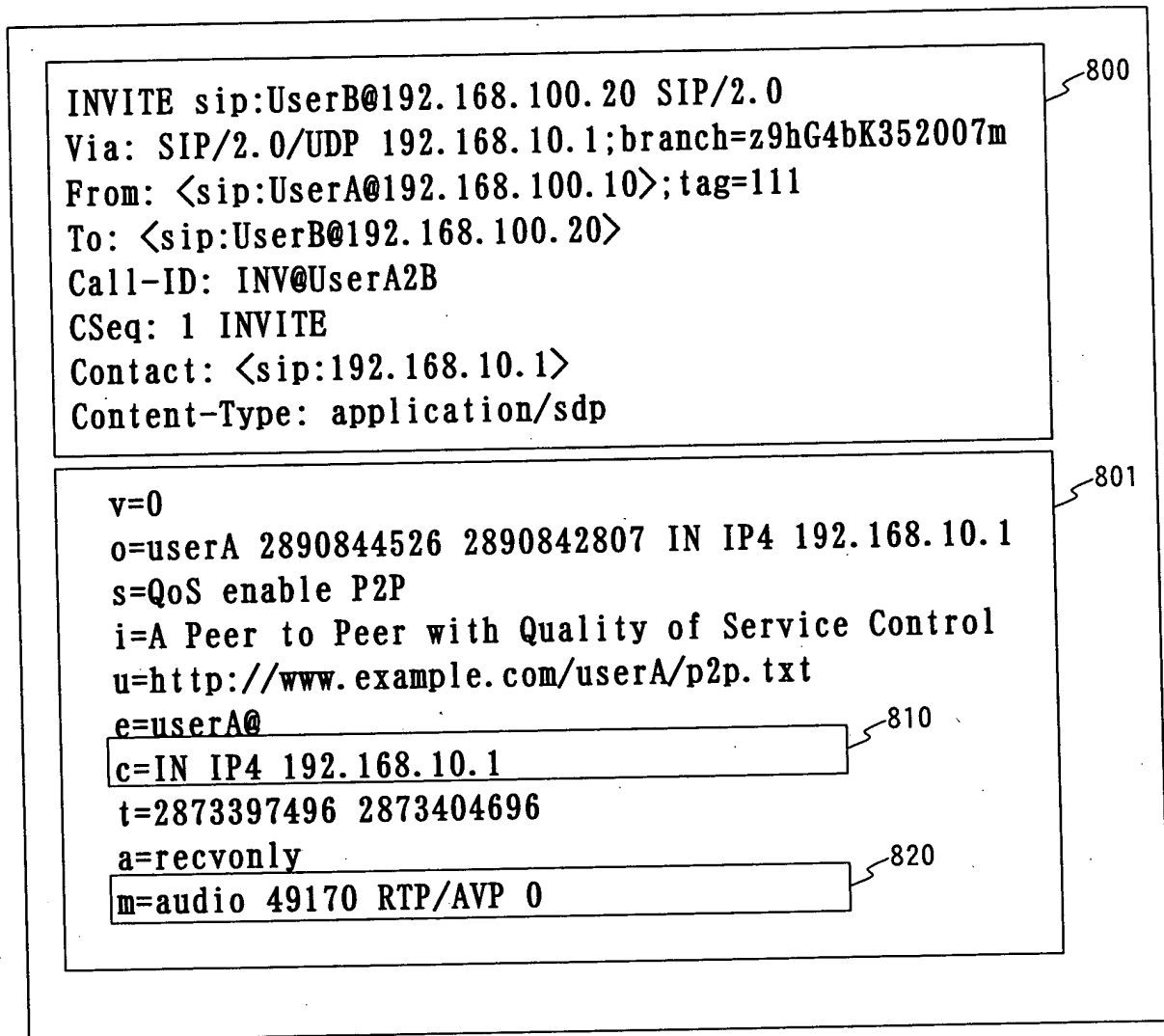
【図3】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のような連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図4】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように接続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の土側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1-2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

【図5】

220a

Call-ID	To tag	From tag	送信元アドレス	送信元ポート	送信先アドレス	送信先ポート	DSCP 値	中継ネットワーク
INV@UserA2B	946	111	192.168.10.1	49170	192.168.20.1	49171	0x001010	—
...

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図6】

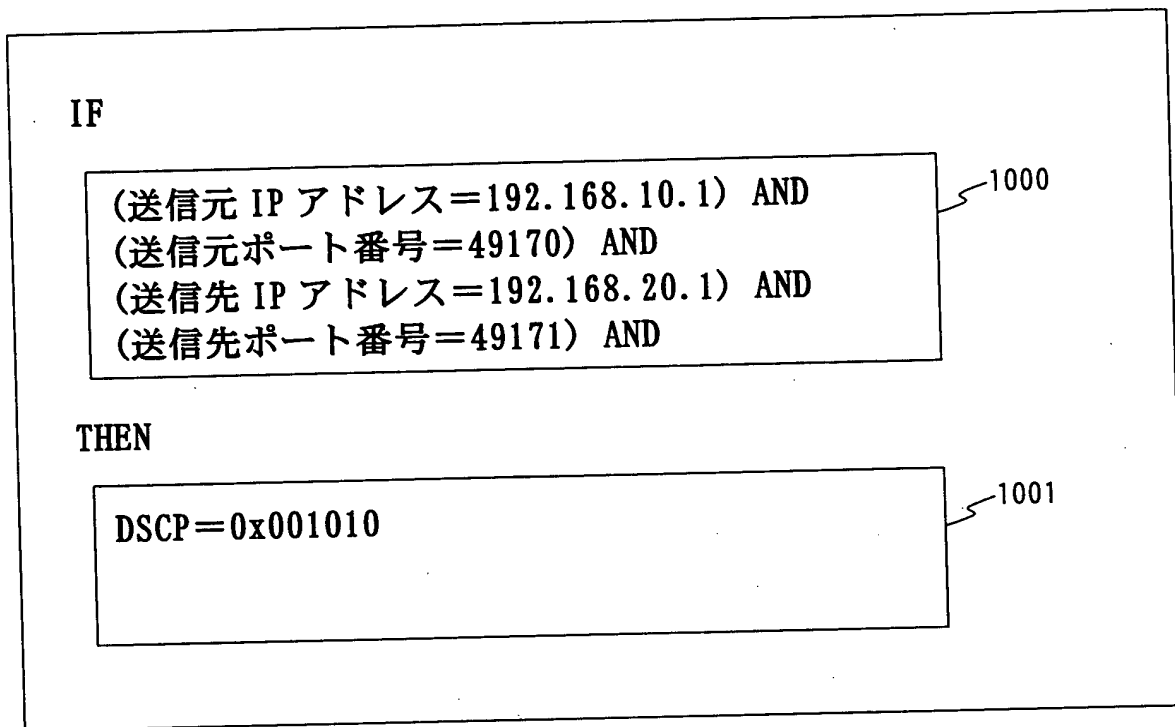
230a

通信端末 IP アドレス	エッジノード IP アドレス
192.168.10.1	192.168.100.1
...	...

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1-2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

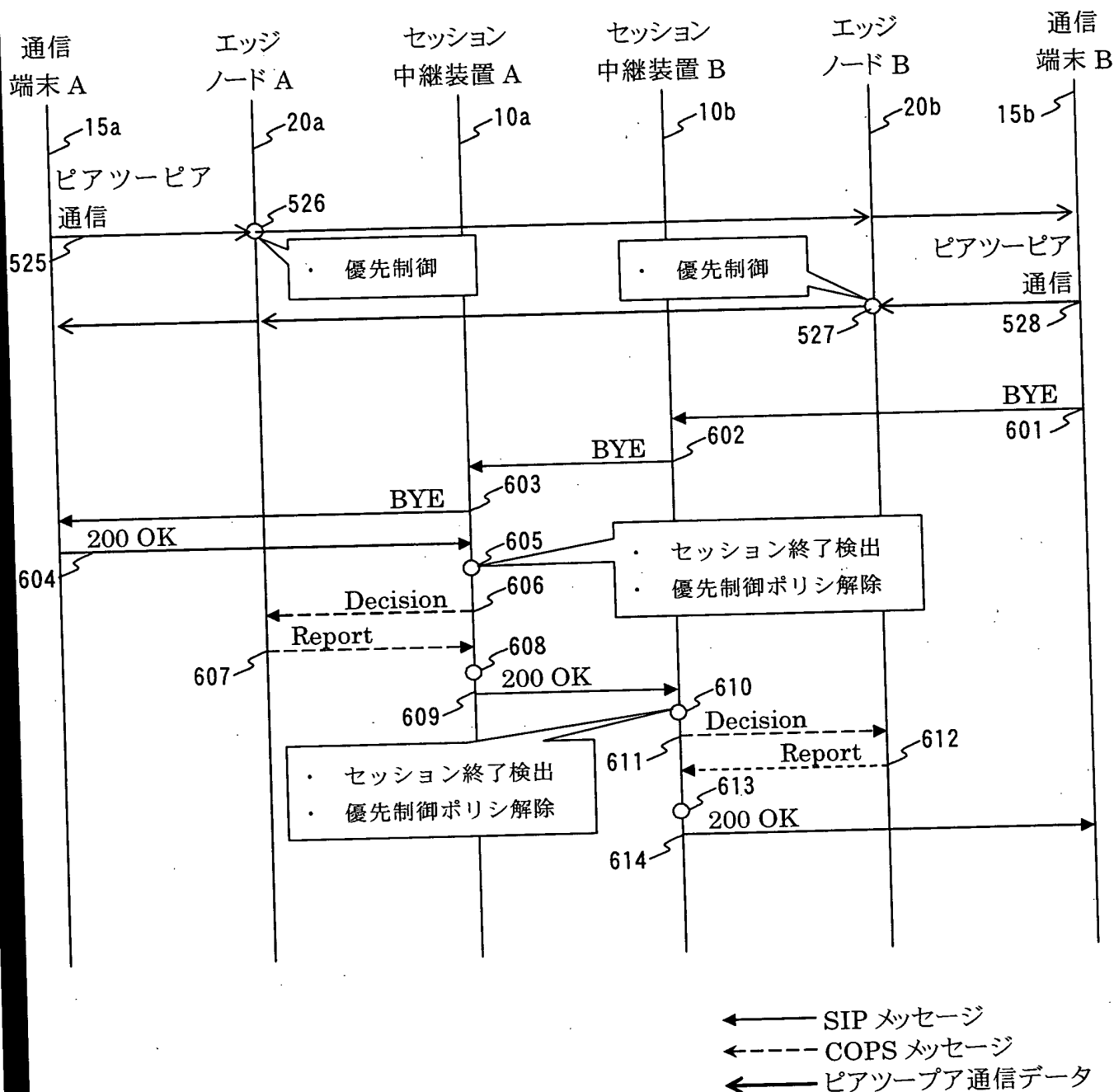
【図7】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズ用の紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

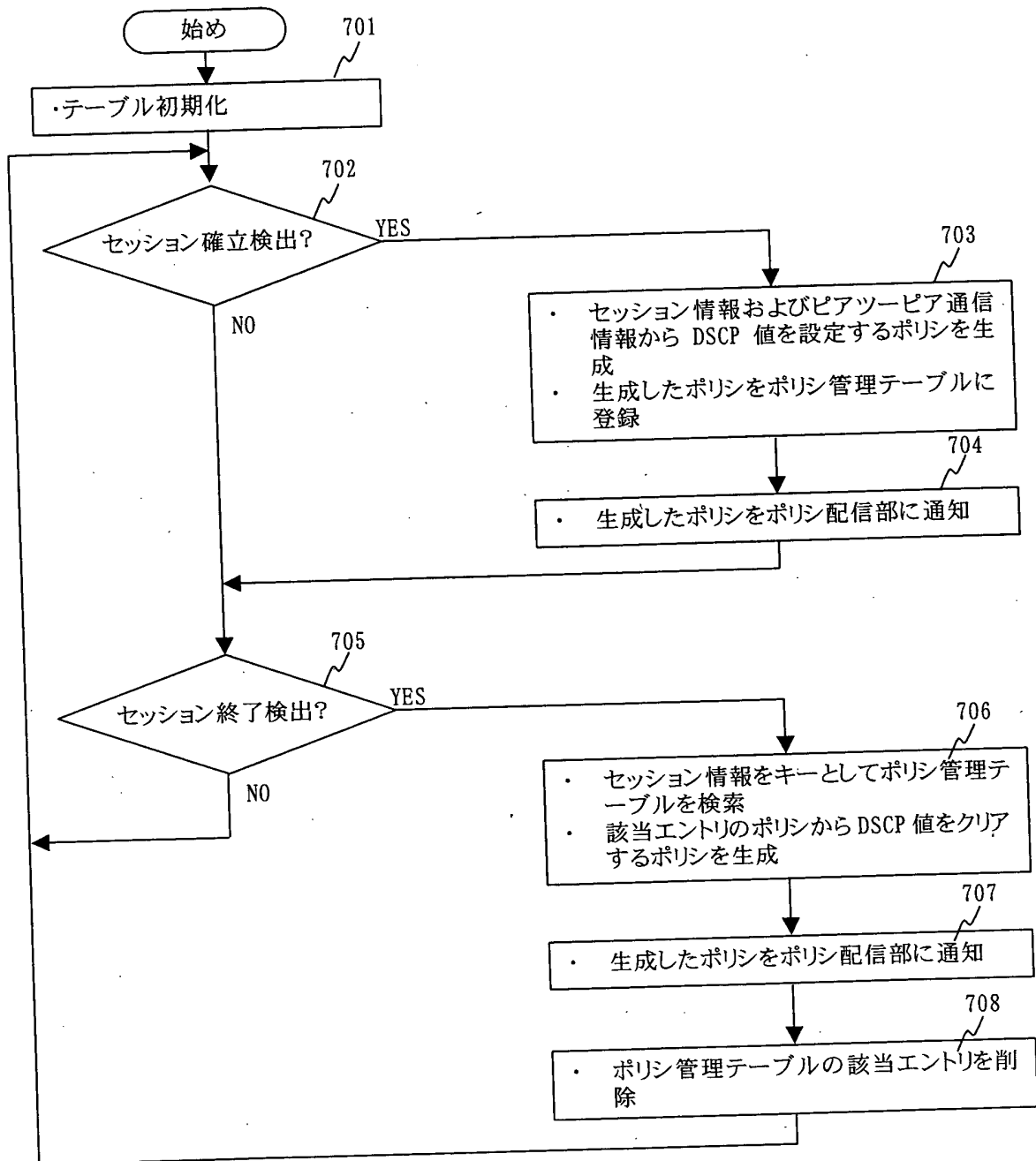
【図8】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとにこの図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

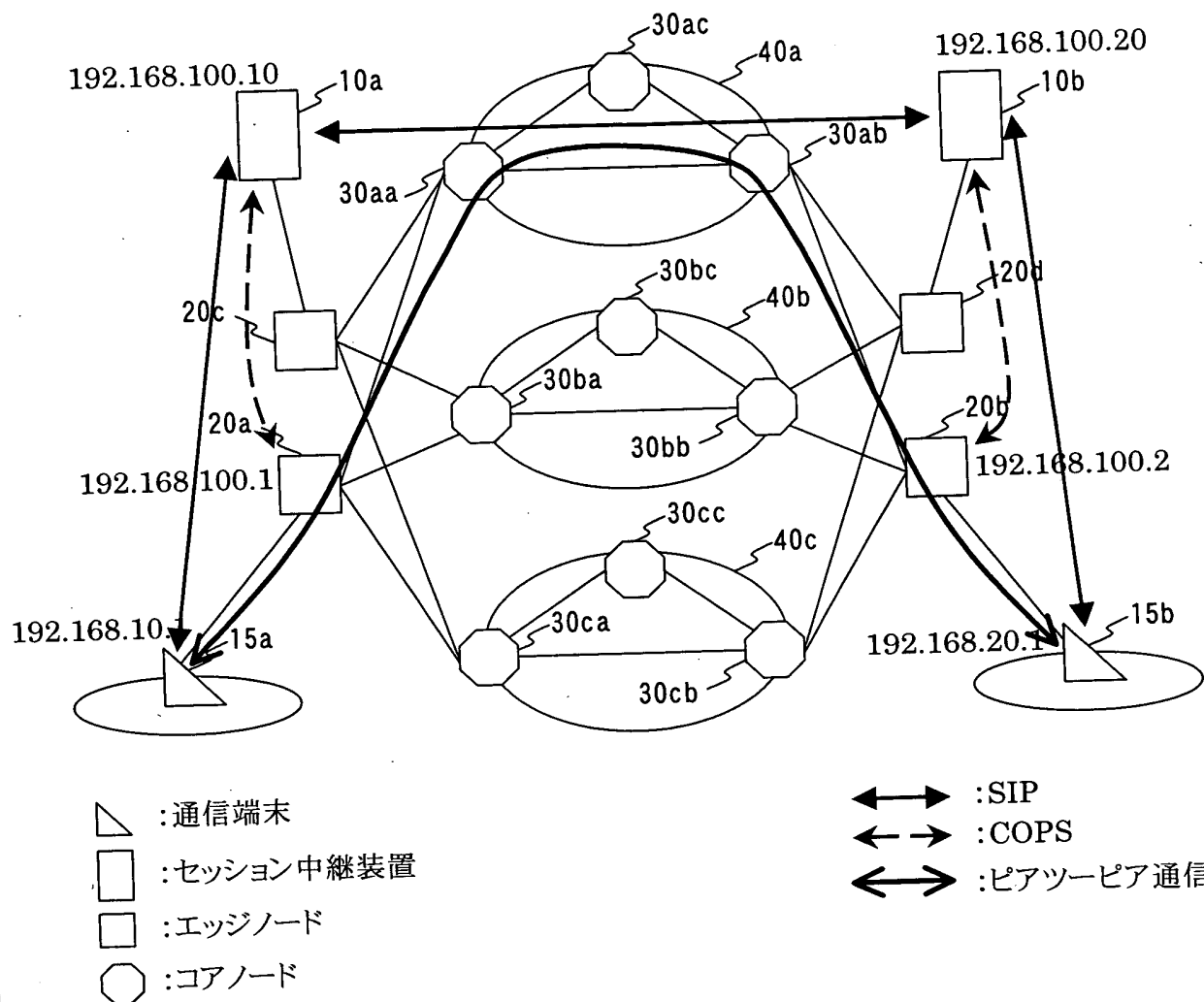
【図9】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)21.5mm×(横)14.8mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図10】



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1.2ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図 11】

SIP/2.0 200 OK

Via: SIP/2.0/UDP 192.168.10.1;branch=z9hG4bK352007m

Via: SIP/2.0/UDP 192.168.100.10;branch=z9hG4bK3721532289

Via: SIP/2.0/UDP 192.168.10.020;branch=z9hG4bKaa92ca8

From: <sip:UserA@192.168.100.10>;tag=111

To: <sip:UserB@192.168.100.20>;tag=946

Call-ID: INV@UserA2B

CSeq: 1 INVITE

Contact: <sip:192.168.20.1>

Content-Type: application/sdp

v=0

o=userB 2890844526 2890842807 IN IP4 192.168.20.1

s=QoS enable P2P

i=B Peer to Peer with Quality of Service Control

u=http://www.example.com/userB/p2p.txt

e=userB@

c=IN IP4 192.168.20.1

t=2873397496 2873404696

a=recvonly

m=audio 49171 RTP/AVP 0

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。